

# マツキーが提案する トライアルの楽しみ方

## その1 女の子をレースに出場させる

トライアルでは、昨年もT1でのロードスターレースに出場（もちろんドライバーは男性）していたが、惜しくもシリーズ・チャンピオンは逃してしまった。そこで今年は、その参戦趣旨をガラッと変え、女の子のドライバーでレースに参戦することにしたのだ。

今年トライアルからロードスターレースに出場することになったのは、古谷佳子さん。彼女はT1サーキットでトライアルが主催する走行会の常連で、牧原さ

ん曰く「その走行会でのタイムの伸びがもっとも著しかったから、ドライバーとして選んだ」とのこと。

したがって、彼女はまったくのレース初心者ということになるが、でもロードスターなら、それも許される!? 実際、女性ユーザーも多いロードスターだから、「例え女の子でも、ロードスターなら、これだけレースが楽しめる」ということをアピールしてもらえれば、それで十分じゃないでしょうか。



## その2 フルエアロ化を推し進める!?

下のイメージスケッチは、今春トライアルに入社予定の人物が描いたもの。牧原さんは、その新入社員に「入社試



験」として、このロードスターを題材にしたエアロパーツのデザイン画を描かせたのだと言う。

これまでトライアルでは、エアロパーツを開発するにあたって、このように商品の「カタチ」を具体的に表現できる人物があまりいなかった。そこで、この「入社試験」を実施したというわけ。したがって、この「入社試験」の結果が、今後の商品開発の上で、プラスに作用することは確実だ。

また、牧原さんとしては、今後はロードスターとしてのトータルなマッチングを考えたエアロパーツの開発を考えている。具体的には、フルエアロ化の方向に行くことになりそうだ。そして、その「計画」を推し進めるための「人材強化」でもあったわけ。

したがって、今年もしかしたら、これまでに見たこともないようなデザインのエアロパーツがトライアルからリリースされるかも!?

## レース、商品開発etc. トライアルが企てるコト

前ページでは、マツキーさんの考えるロードスターの楽しみ方を語ってもらった。そこで、トライアルが今年仕掛ける、具体的な「ロードスターの楽しみ方」の数々を紹介してみよう。

まず、話の中にもあったように今年度はT1サーキットで行われているN1車両による「ロードスターレース」に女性ドライバーでエントリー。さらに、このロードスターの他に、シルビアでN2レースにも出場する予定となっている。

トライアル側としては、ロードスターは女性ドライバーでレースの楽しさをより多くの人たちに知ってもらうことを趣旨とし、そしてN2の方では「勝ち」を狙った積極的なレース活動を行うことを目指している。

また、商品開発の面では、ボディデザインのできるスタッフが今春から入社することになっているという。これによって、各パートの専門化が進み、それがきつと商品開発の面でも良い方向へ向かうことになるはずだ。

これ以外の「仕掛け」については、上のコラムを参考に。

